

報道関係者各位

2026年4月22日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリー：住まい・街づくり（複合開発）・サステナビリティ

『赤坂七丁目 2 番地区第一種市街地再開発事業』 ABINC 認証、SEGES 認定を取得

— 周辺環境や地域と連携した生物多様性・緑のまちづくりへの多様な取組みが評価 —

本ニュースリリースのポイント

1. 「青山一丁目」駅から徒歩 6 分の地にて計画する再開発事業
2. ABINC 認証では、生きもの呼び込む植栽計画や雨水利用など、環境・緑を重視した再開発計画が評価
3. SEGES 認定では、公園や地域とつながる緑の整備による地域価値の向上への期待が評価

野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作、以下「当社」）は、日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：三輪正浩）とともに参加組合員として、東京都港区赤坂七丁目にて権利者の皆さまをはじめ、地域の皆さまおよび東京都、港区と推進しております『赤坂七丁目 2 番地区第一種市街地再開発事業（以下、本事業）』が、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が評価する「ABINC 認証」、公益財団法人 都市緑化機構が認定する「SEGES 認定」を取得いたしましたのでお知らせします。



【本事業 完成イメージ】

※現在計画中であり、今後変更となる可能性がございます。

1. 生物多様性保全に配慮した ABINC 認証

ABINC 認証は、いきものと人が共生できる仕組みを創造し、科学的・技術的に検証の上、事業化推進を目的とする「一般社団法人いきもの共生事業推進協議会」が生物多様性の保全を目標に、環境づくりや維持管理、地域とのコミュニケーションについて評価した物件に与えられます。



<本事業に対する講評>

本事業は、生きものの誘致を意図した植栽計画と周辺環境との連続性への配慮に加え、雨水の有効利用を通じた水循環への配慮（雨水流出抑制施設の設置・水辺への雨水流入の仕組み）や、関係者の指示確認体制に基づく生きものに配慮した植栽管理方針が評価されています。

2. 緑の取り組みを評価する SEGES つくる緑認定

SEGES 認定は、豊かで潤いのある緑の街づくりを推進することを目的に、建設や開発など、都市開発事業における緑の保全・創出計画を一定基準に沿って評価・認定する制度です。



<本事業に対する講評>

地形の特徴である高低差を活かし、緑を多層的に配置した立体的な緑の景観、隣接する公園との一体的整備により、敷地内外の緑地のつながりを創出する再開発事業です。緑地の管理やステークホルダーとのコミュニケーションの方向性も検討されており、地域価値の向上が期待できる計画として評価されました。

3. 赤坂七丁目 2 番地区第一種市街地再開発事業について










■ 事業概要

| | |
|-----------|------------------------------|
| 施行者 | 赤坂七丁目2番地区市街地再開発組合 |
| 所在地 | 東京都港区赤坂七丁目601番～606番（地番） |
| 施行区域面積 | 約1.2ha |
| 建築面積 | 約5,015㎡ |
| 延床面積 | 約87,743㎡ |
| 建物用途 | 共同住宅、事務所、専修学校、店舗等 |
| 総戸数 | 622戸 ※地権者住戸含む（SOHO除く） |
| 構造規模 | 地上46階／地下1階・約157m（T.P.+28.8m） |
| 今後のスケジュール | 竣工 2028年度（予定） |

■事業関係者

| | |
|------------|----------------------------|
| 参加組員 | 日鉄興和不動産株式会社、野村不動産株式会社 |
| 都市計画・基本設計者 | 株式会社日本設計 |
| 実施設計者 | 清水建設株式会社・株式会社日本設計（設計共同企業体） |
| 施工者 | 清水建設株式会社（特定業務代行者） |

【ご参考】野村不動産グループの2030年までのマテリアリティ

| 野村不動産グループ マテリアリティ | | | | |
|--|---|---|--|--|
|  DECARBONIZATION 脱炭素 |  BIODIVERSITY 生物多様性 |  CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン |  DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン |  HUMAN RIGHTS 人権 |
| 本リリースの取組が該当するマテリアリティ | 野村不動産グループの取組特色 | 本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標) | | |
|  BIODIVERSITY 生物多様性 | 「循環する森づくり」を通じ、豊かな自然環境を保全するとともに私たちが開発する建物に、そこで収穫・製材した国産木材を活用するなど、CO2吸収や森林機能の向上に貢献します。 |  11 住み分けられるまちづくりを |  12 つくる責任 つかう責任 |  15 陸の豊かさも守ろう |

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>